

# 豊田市の幹線道路網整備等 に関する要望書

ものづくり中枢都市



国道153号伊勢神改良



国道153号豊田北バイパス



国道301号松平バイパス

令和2年7月

豊田市幹線道路整備促進協議会



当市のある西三河地方は、世界をリードするものづくり産業の中核としての顔を持つ一方、超高齢社会の進展に伴う労働人口の減少、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫、公共施設の老朽化等に伴う維持管理費の増大等の課題を抱えています。

また、本年は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、我が国の社会経済活動に、甚大な影響を受けているところであります。

今後は、落ち込んだ社会経済活動を回復させるとともに、今日のような状況下においても、感染拡大の防止と社会経済活動の維持を両立させ、市民生活・地域経済の安定確保に不可欠な事業を継続させる体制を構築しなければなりません。

さらに、いつ起こるかわからない感染症や自然災害など外的要因の影響を最小限に留めるためには、中長期的に持続可能な成長軌道を確実なものとする強靱な経済構造を構築する必要があります。

このような取組を進めるうえで、道路は経済の好循環を取り戻し、「安心と成長の未来」を実現する重要な社会基盤です。

引き続き、生産性向上に資する重要物流などの道路ネットワークの構築や、既存ストックを有効活用する防災・減災、インフラ老朽化対策などの国土強靱化を着実に進めるとともに、更に今後は、ポストコロナ時代のニューノーマルを見据え、生活の質の向上に資する自動運転をはじめとする新たな技術革新を積極的に取り入れていく必要があります。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 新型コロナウイルス感染症収束後の確実な経済活動復興のための道路整備、並びに防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策の継続と対象事業の拡充を実施すること**
- 2 安全・安心の確保や生産性向上などの生活の質の向上、豊かで暮らしやすい地域づくりを実現する道路ネットワークの整備を計画的かつ着実に推進すること**
- 3 地方の切実なニーズを十分に踏まえ、地方が真に必要とする道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和3年度道路関係予算は所要額を確保すること**

## ■ 重点要望事項 ■

○太字は重点要望事項

### 生産性を向上する道路ネットワーク

＜物流ネットワークの機能強化＞

○国道 301 号（松平バイパス）の早期整備

○（都）豊田刈谷線（一般県道宮上知立線バイパス）の早期整備

＜高規格幹線道路へのアクセス強化＞

○国道 419 号（四郷拡幅）の早期 4 車線整備

・国道 301 号（益富拡幅）の早期事業化

### 豊かで暮らしやすい地域づくり

＜市域の一体性・交流を支える道路の整備＞

・国道 301 号（根引林添バイパス）の早期事業化



国際競争力・都市間競争力を高め、更なる産業の活性化を図るため新たな産業拠点へのアクセス道路の整備が必要です。

## 国道301号 松平バイパス ～豊田・岡崎地区研究開発施設 (Toyota Technical Center Shimoyama) へのアクセス道路整備～

- 現在、下山地区で進められている**豊田・岡崎地区研究開発施設事業は、豊田市が更なるものづくり中枢都市としての持続的な成長に資する重要な事業**です。
- 研究開発施設への安全で円滑なアクセス道路を確保**するため、**国道301号の整備は最優先事業**です。

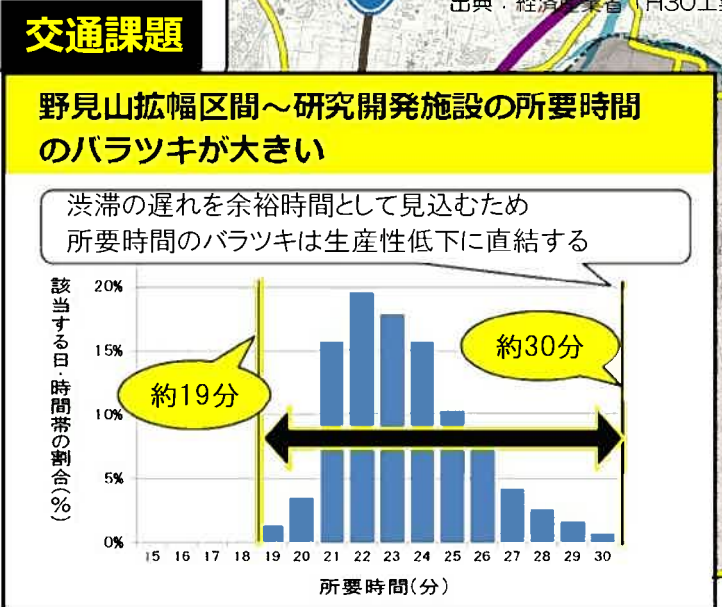


**豊田・岡崎地区研究開発施設 完成予想図**

東工区 (令和2年3月一部引渡し)  
中工区 (平成30年2月引渡し)

東工区 (R2.4月撮影)

令和3年3月引渡し完了予定  
事業面積 650.8ha  
予定従業員数 3,850人  
通勤及び関係車両 3,700台/日  
(うち7割が国道301号を利用)  
**交通量が約1.3倍に!**



**交通課題**

急カーブ・急こう配など線形不良箇所が点在

●**人流・物流の円滑化による生産性の向上や安心・安全の確保により、経済活動を支援**

**ものづくりの技術革新を支える研究開発機能の集積地**

**豊田・岡崎地区研究開発施設**  
令和5年度より本格稼働予定



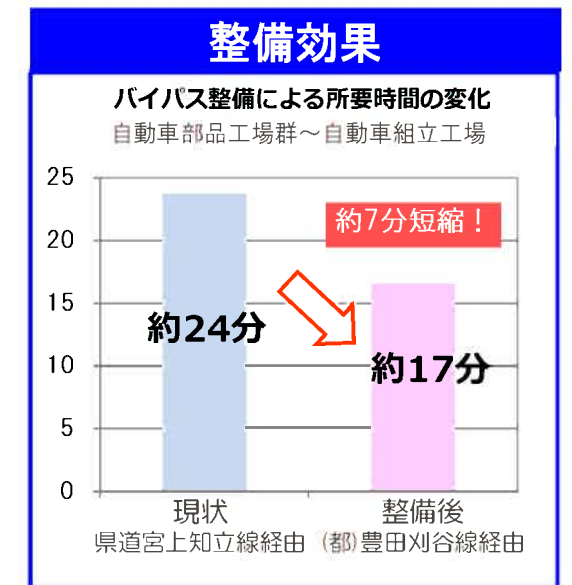
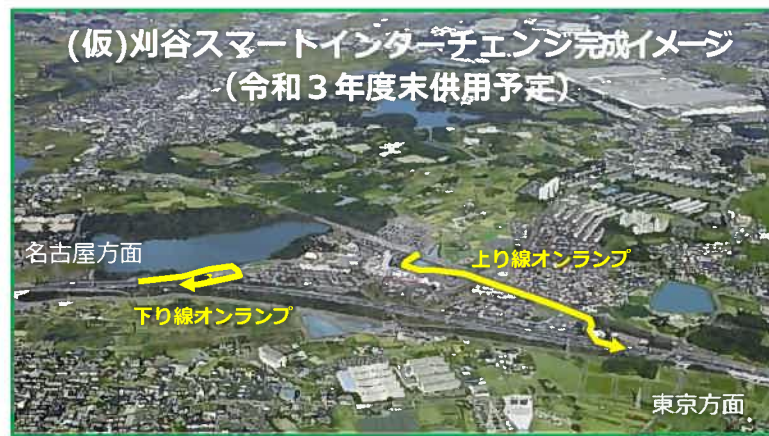
# ものづくり産業の基盤を支え、高規格幹線道路へのアクセス性を高める道路整備

国際競争力の激化や労働人口の減少に対応するため、**物流を円滑化し、生産性の向上に資する**道路の整備が必要です。

## (都) 豊田刈谷線 宮上知立線バイパス ～ (仮) 刈谷スマートICへのアクセス道路整備～

○豊田市の南部地区は、**自動車産業における主要な工場が集積**しており、**豊田南ICや周辺幹線道路に交通が集中**するため、地域の主要渋滞箇所を中心に慢性的な渋滞が発生しています。

○**円滑な移動を確保し、物流の効率化や安全・安心な道路交通環境を実現**するため、**(都) 豊田刈谷線の整備**が必要です。



- 工場間や刈谷SICへのアクセス性が向上し、国内外に向けたサプライチェーンを強化
- 通過交通や大型車交通の機能分担により、現道区間の混雑の緩和や安全性を向上

※ 令和元年 乗用車輸出台数



円滑な人流・物流を確保し、定住人口の増加や、生産性を支えるため、区画整理事業や産業団地の拡張事業に合わせた道路の整備が必要です。

## 国道419号 四郷拡幅 ～交通需要の増加に合わせた4車線化整備～

○現在、国道419号周辺では、四郷駅周辺での区画整理事業や花本産業団地の拡張事業などを推進しており、今後、事業の進展に伴い**交通需要が増加**することが見込まれています。

○既存の主要渋滞箇所を含め、円滑な市民活動、産業活動を確保するため、**国道419号の早期の4車線化整備**が必要です。

### 交通課題

通勤・帰宅時には**1km**を超える渋滞が発生

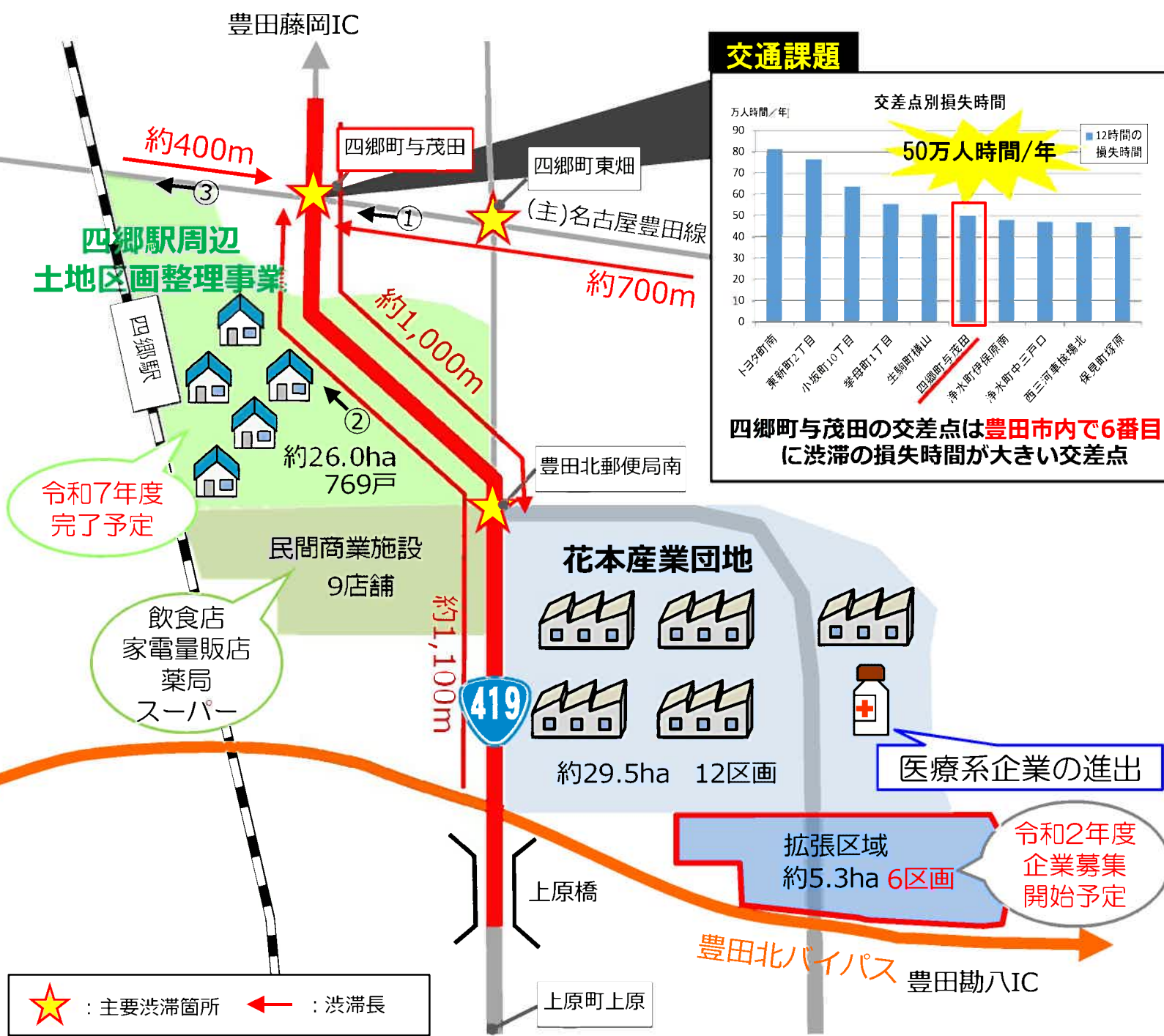
右折車両による渋滞状況  
(四郷町与茂田交差点) (写真①)



朝の渋滞時の様子(国道419号)  
(写真②)



昼間の渋滞時の様子(名古屋豊田線)  
(写真③)

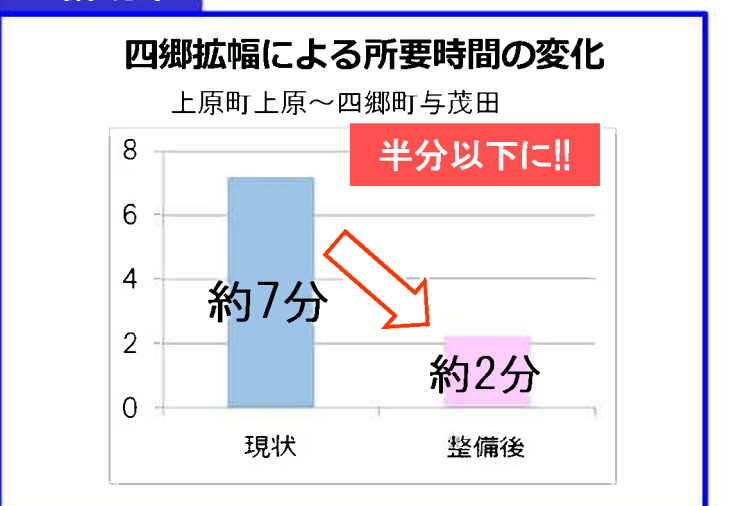


### 交通課題



- 道路整備による期待感から土地利用が高度化
- 花本産業団地 18区画(計画含む)
- 四郷駅周辺土地区画整理事業 769戸(計画含む)
- 民間商業施設 9店舗(R1.11時点)

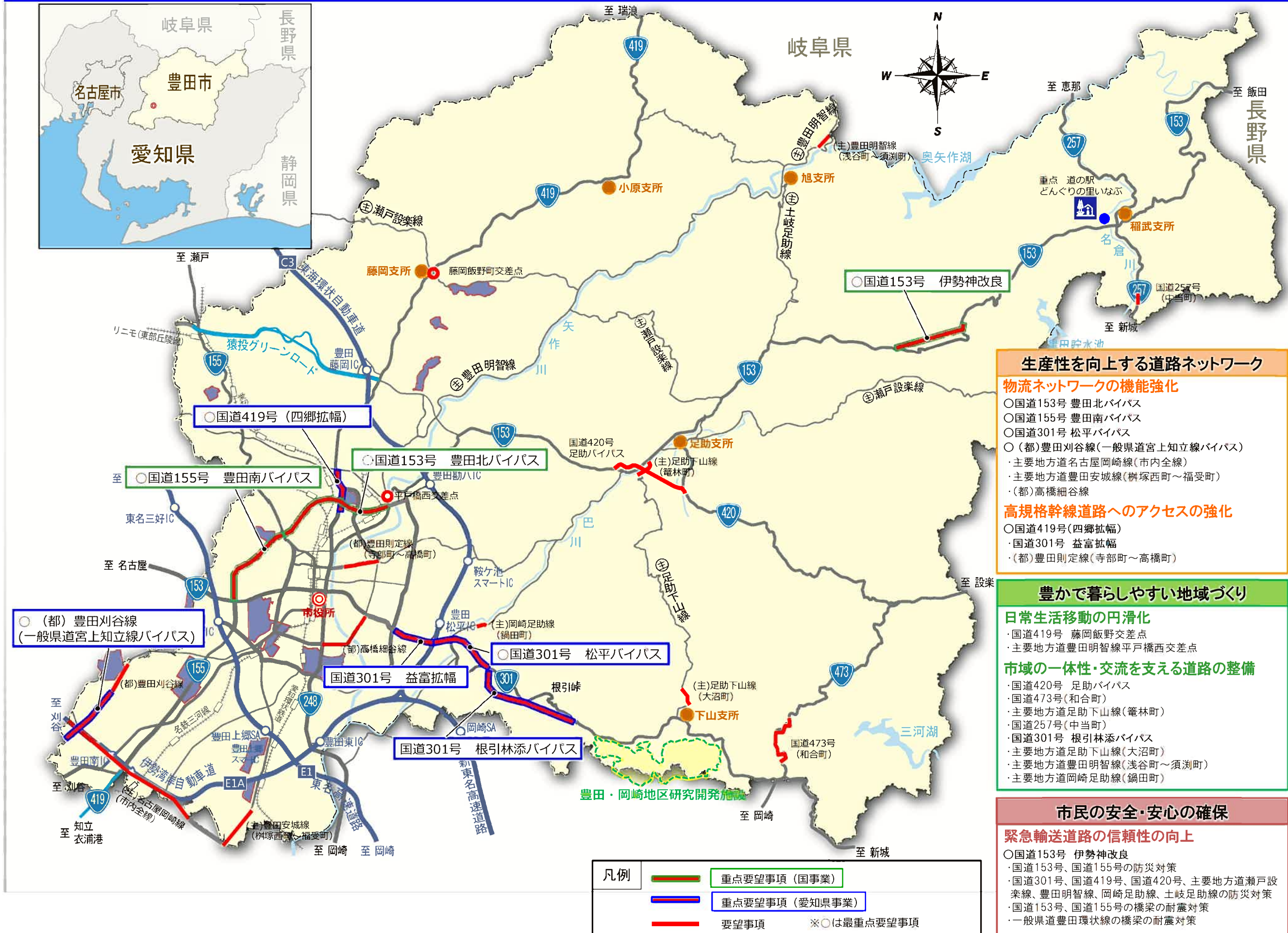
### 整備効果



●交通の円滑化が更なる都市と産業の発展に寄与



# 豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】(参考)



## 生産性を向上する道路ネットワーク

- ### 物流ネットワークの機能強化
- 国道153号 豊田北バイパス
  - 国道155号 豊田南バイパス
  - 国道301号 松平バイパス
  - (都)豊田刈谷線(一般県道宮上知立線バイパス)
    - ・主要地方道名古屋岡崎線(市内全線)
    - ・主要地方道豊田安城線(樹塚西町～福受町)
    - ・(都)高橋細谷線
- ### 高規格幹線道路へのアクセスの強化
- 国道419号(四郷拡幅)
  - ・国道301号 益富拡幅
  - ・(都)豊田則定線(寺部町～高橋町)

## 豊かで暮らしやすい地域づくり

- ### 日常生活移動の円滑化
- ・国道419号 藤岡飯野交差点
  - ・主要地方道豊田明智線平戸橋西交差点
- ### 市域の一体性・交流を支える道路の整備
- ・国道420号 足助バイパス
  - ・国道473号(和合町)
  - ・主要地方道足助下山線(簗林町)
  - ・国道257号(中当町)
  - ・国道301号 根引林添バイパス
  - ・主要地方道足助下山線(大沼町)
  - ・主要地方道豊田明智線(浅谷町～須淵町)
  - ・主要地方道岡崎足助線(鍋田町)

## 市民の安全・安心の確保

- ### 緊急輸送道路の信頼性の向上
- 国道153号 伊勢神改良
  - ・国道153号、国道155号の防災対策
  - ・国道301号、国道419号、国道420号、主要地方道瀬戸設楽線、豊田明智線、岡崎足助線、土岐足助線の防災対策
  - ・国道153号、国道155号の橋梁の耐震対策
  - ・一般県道豊田環状線の橋梁の耐震対策

凡例	
<span style="color: green;">—</span>	重点要望事項 (国事業)
<span style="color: blue;">—</span>	重点要望事項 (愛知県事業)
<span style="color: red;">—</span>	要望事項
※○	※○は最重要要望事項

令和2年7月8日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会長 豊田市長  
太田稔彦

豊田市議会議長  
山田主成

豊田商工会議所会頭  
三宅英臣